

フジテック(株) (東証・大証1部:code 6406) 2007年3月期決算・中期経営計画説明

<http://www.fujitec.co.jp>



June 6, 2007

説明項目

1. 会社概要

2. 2007年3月期決算説明

3. 2008年3月期業績予想

4. 新中期経営計画(2007-2009年度)

1. 会社概要



会社概要

(2007年3月末基準)

FUJITEC Co., Ltd.

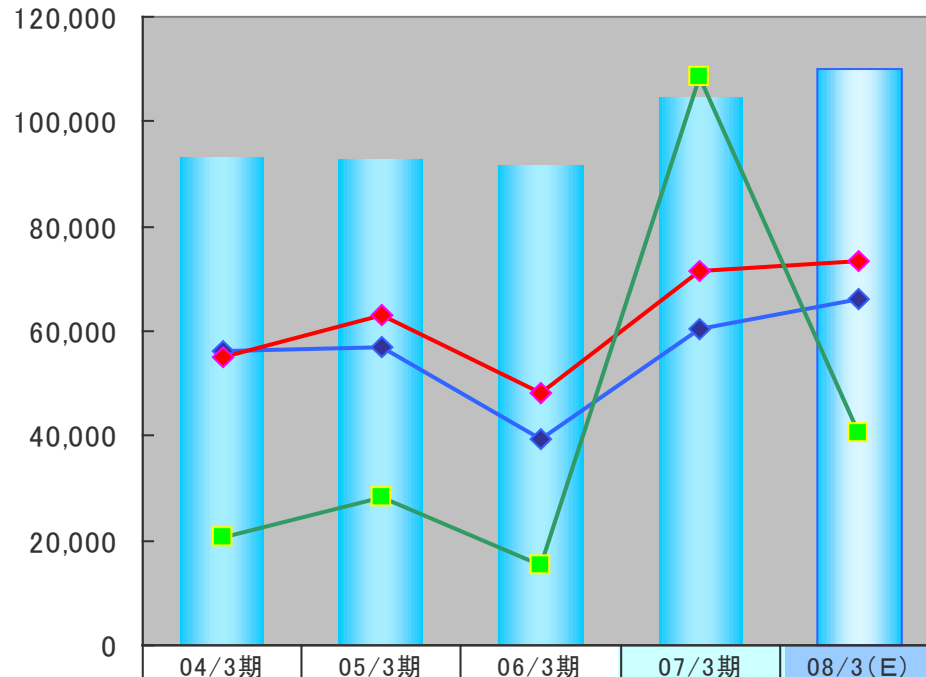
- 商号: フジテック株式会社 (FUJITEC CO., Ltd.)
- 設立: 1948年2月 (1963年5月上場)
- 本社所在地: 滋賀県彦根市宮田町591-1(ビッグウイング)
- 事業内容: エレベータ、エスカレータ、動く歩道、立体駐車設備、新交通システムなどの研究開発・製造・販売・据付・メンテナンス
- 資本金: 125億33百万円 (発行株式数 93,767,317株)
- 役員: 代表取締役社長 内山 高一 取締役会長
取締役4名 社外取締役1名 監査役 常勤1名(ほか社外2名)
- 従業員数: 連結7,139名(単体2,532名)
- グループ企業: 関係会社28社(内、連結子会社16社)
(北南米、東アジア、南アジア、中国、欧州・中近東)
- 監査法人: 有恒監査法人
- 取引銀行: りそな銀行、みずほコーポレート銀行、三菱東京UFJ銀行
- 主要株主: (株)ウチヤマ・インターナショナル10.6%、メロン・バンク 8.7%、
(株主数3,805名) 日本マスタートラスト6.1%、富士電機5.4%、シージーエムエル4.9%

業績推移(連結)

FUJITEC Co., Ltd.

売上高 / 利益

(単位:百万円)



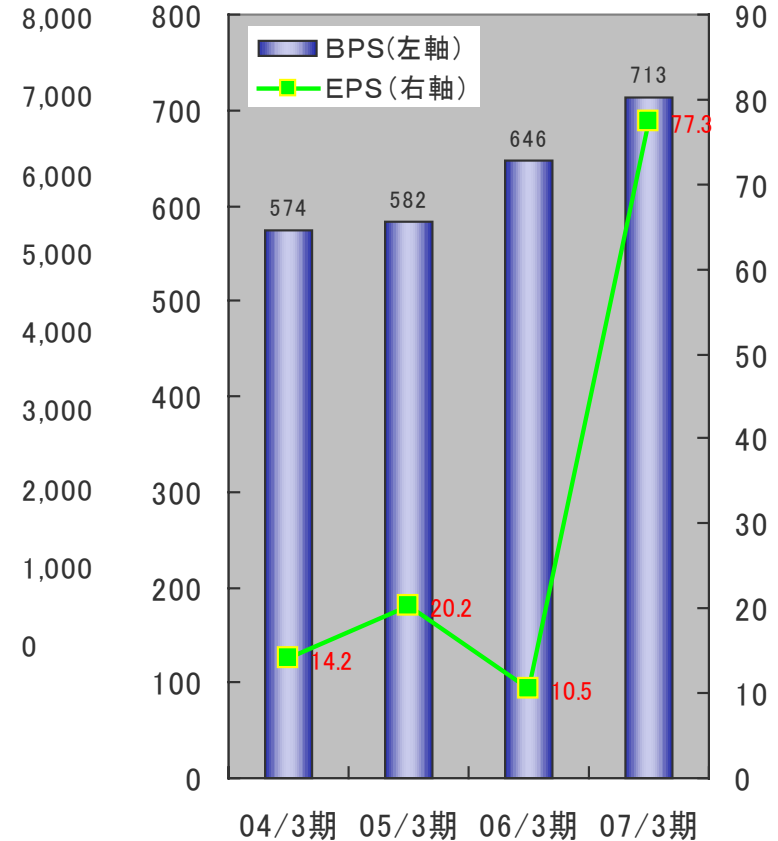
	04/3期	05/3期	06/3期	07/3期	08/3(E)
売上高(左軸)	93,237	92,704	91,627	104,716	110,000
営業利益(右軸)	3,734	3,792	2,634	4,037	4,400
経常利益(右軸)	3,681	4,203	3,214	4,772	4,900
当期利益(右軸)	1,385	1,896	1,021	7,245	2,700

固定資産売却益等の特別利益計上

EPS(1株当たり利益)

BPS(1株当たり純資産)

(単位:円)



2007年3月期 トピックス

FUJITEC Co., Ltd.

- 2004年度からの3カ年中期経営計画
“Change & Charge”(変革と前進)の最終年度
- ビッグウイングへの本社・研究開発・生産機能統合による
スピード経営の実現および品質向上と顧客ニーズへの迅速な対応
 - － 第1・第2工場でのエレベータの生産能力の拡大
 - － 世界一の高さと規模を誇る地上170mのエレベータ研究塔完成と研究開発施設の充実
 - － 国内向け標準型エレベータ「エシード-α」の販売好調
- 連結売上高1,000億円を達成
- 世界最大の昇降機市場・中国への経営資源集中
 - － 華昇フジテックでの旺盛な需要に対するエレベータ生産体制の拡大
 - － 上海華昇フジテックの新工場完成によるエスカレータの生産倍増
 - － 上海RDセンターでの研究開発体制
 - － 上海調達センターによるグローバル調達促進
- 欧米の事業方針の転換



世界一の高さを誇る「エレベータ研究塔」
(滋賀県彦根市)

フジテックのグローバル展開

FUJITEC Co., Ltd.

- ◎連結子会社
- 非連結子会社
- 関連会社

- ◎FUJITEC UK LTD.
- ◎FUJITEC DEUTSCHLAND GmbH
- FUJITEC EGYPT CO., LTD.
- FUJITEC SAUDI ARABIA CO., LTD.



欧州・中近東

東アジア

フジテック株式会社
日本

北南米

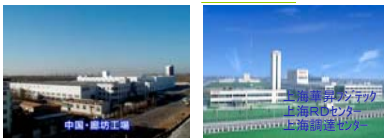
- ◎FUJITEC (HK) CO., LTD. (生産拠点)
- ◎販売子会社1社(HONG KONG)
- ◎FUJITEC TAIWAN CO., LTD. (生産拠点)
- ◎FUJITEC KOREA CO., LTD. (生産拠点)
- ◎中国: HUASHENG FUJITEC ELEVATOR CO., LTD. (生産拠点)
- ◎中国: SHANGHAI HUASHENG FUJITEC ESCALATOR CO., LTD. (生産拠点)
- 中国: FUJITEC SHANGHAI TECHNOLOGIES CO., LTD. (研究開発拠点)
- 中国: FUJITEC SHANGHAI SOURCING CENTER CO., LTD. (調達拠点)

- ◎FUJITEC AMERICA, INC.
- ◎FUJITEC CANADA, INC.
- FUJITEC VENEZUELA C.A.
- FUJITEC ARGENTINA S.A.
- FUJITEC PACIFIC, INC.

東アジア

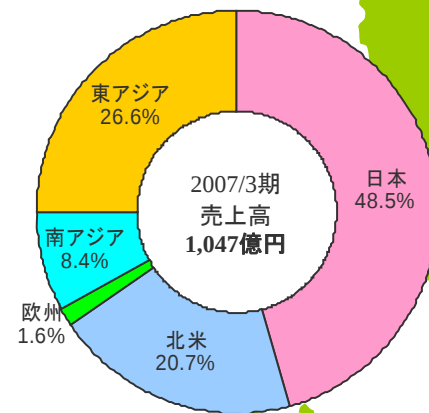


中国



南アジア

- ◎FUJITEC SINGAPORE CORPN. LTD. (生産拠点)
- ◎P.T. FUJITEC INDONESIA (生産拠点)
- ◎販売子会社4社 (SINGAPORE, MALAYSIA, INDIA, VIETNAM)
- FUJITEC, INC. (PHILIPPINES)



*内部取引消去 -5.8%

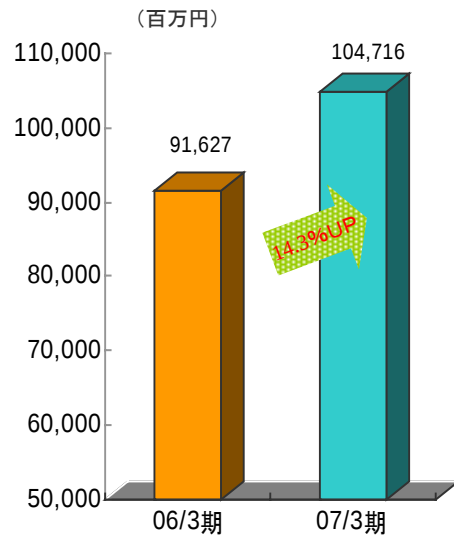
2. 2007年3月期決算説明



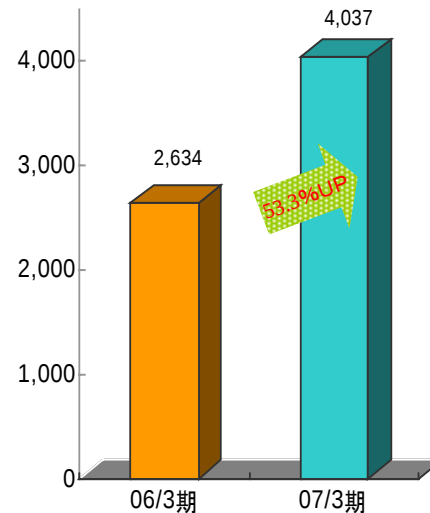
2007年3月期：決算サマリー(連結)

FUJITEC Co., Ltd.

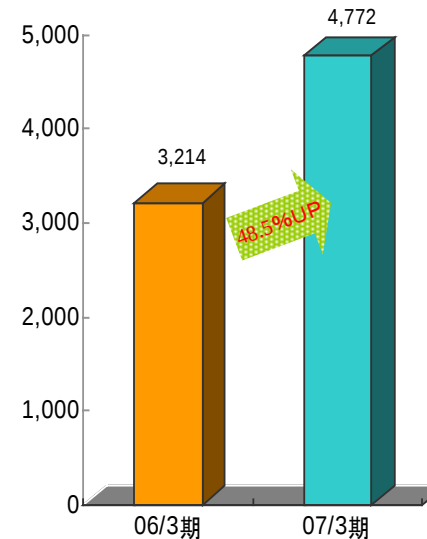
売上高



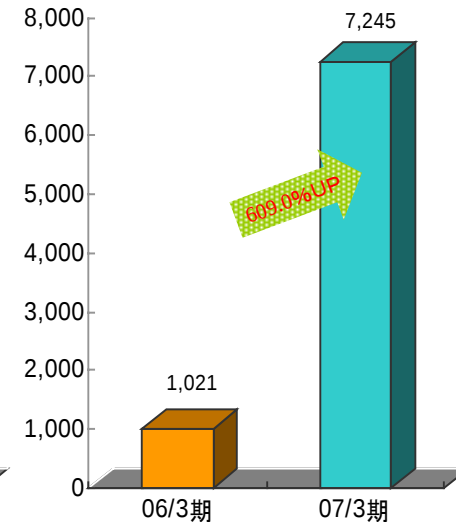
営業利益



経常利益



当期純利益

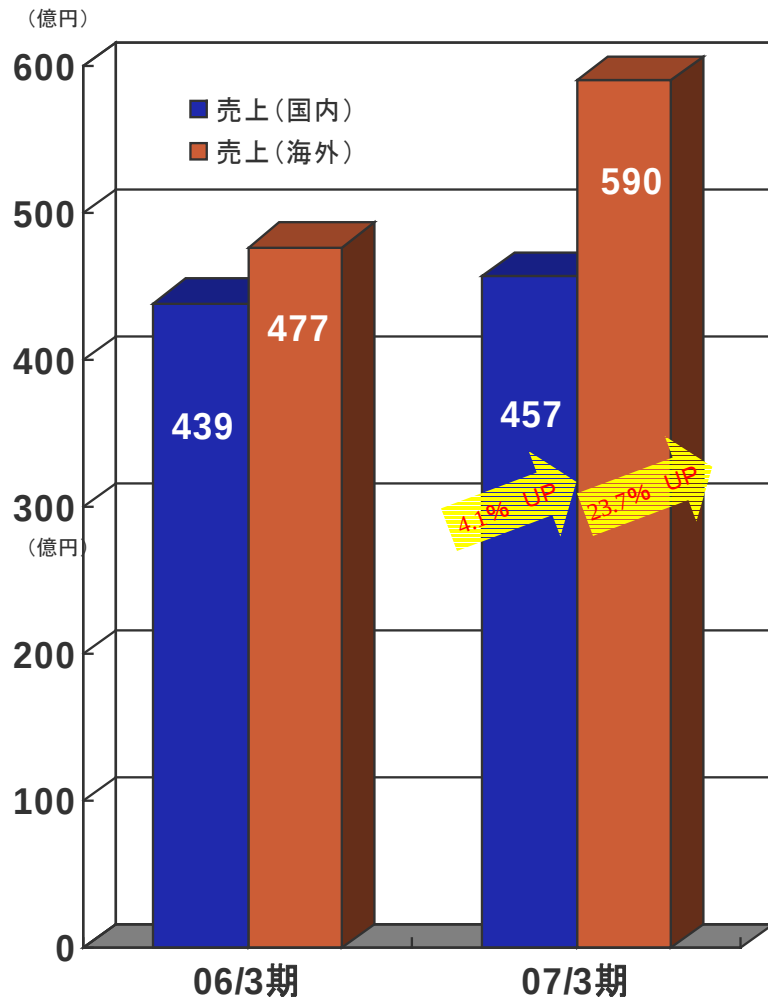


(百万円未満切捨)	06/3期実績	予想 (06/10/27修正)	07/3期実績	前年比(±%)	内容
売上高	91,627	102,000	104,716	14.3%	前期比売上内訳： 国内4.1%増、海外23.7%増
売上総利益	17,607		19,543	11.0%	粗利率18.7%、前期比△0.5ポイント
販売・一般管理費	14,972		15,506	3.6%	販管費率14.8%、前期比△1.5ポイント
営業利益	2,634		4,037	53.3%	営業利益率3.9%、前期比+1.0ポイント
経常利益	3,214	4,600	4,772	48.5%	経常利益率は前期比+1.1ポイント
当期利益	1,021	2,000	7,245	609.0%	固定資産売却益79億円、特別損失12億円
EPS (円)	10.58		77.32	630.8%	

* 米ドル平均為替レート 前期 113 円 、当期117 円

2007年3月期：国内/海外別売上高

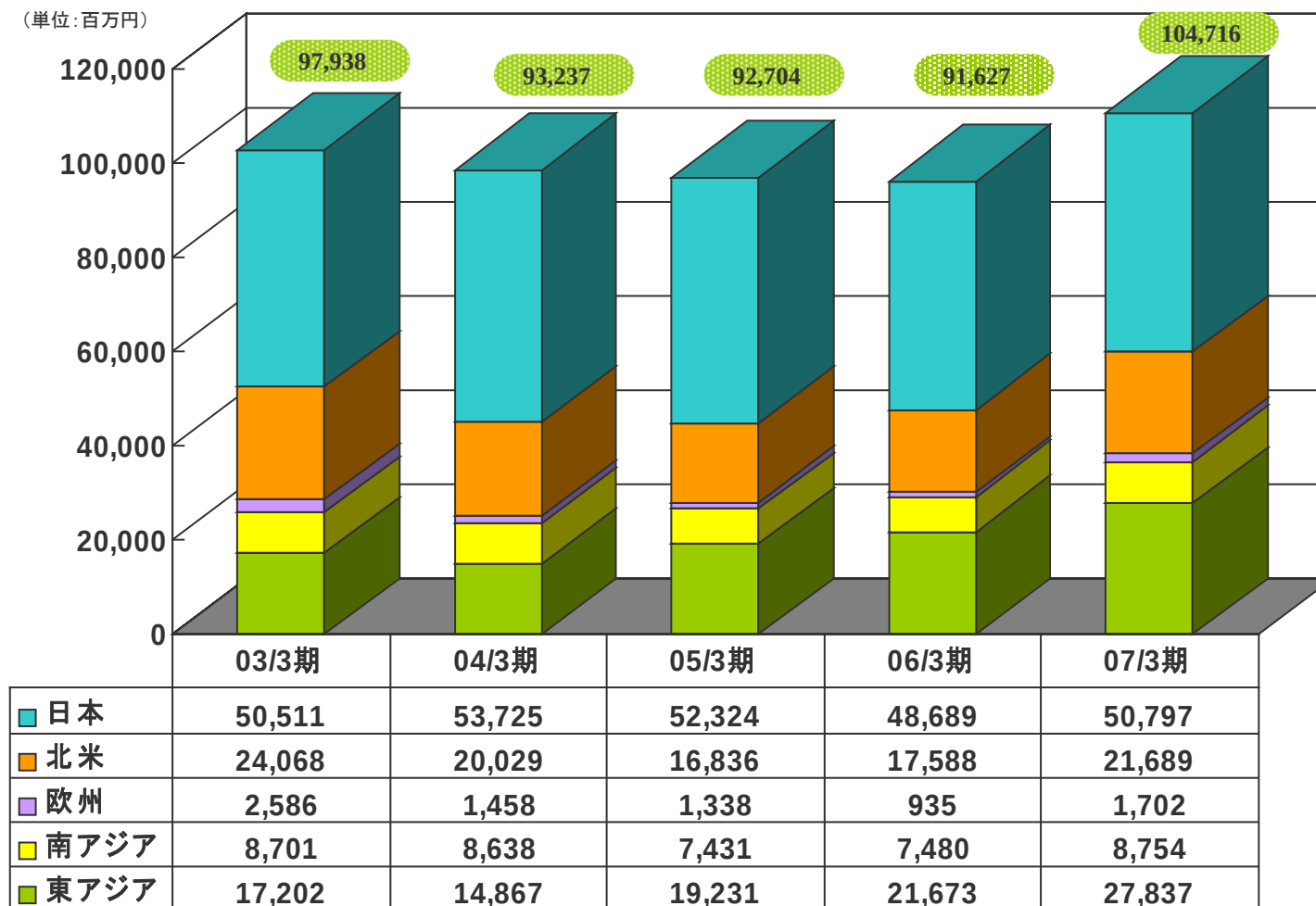
FUJITEC Co., Ltd.



- 売上高：連結売上1,000億円突破
(前期比+14.3%)
 - － 国内：公共投資縮小、民間部門需要拡大(マンション、ショッピングセンター等)
標準型マシンルームレス・エレベータ
「エシード-α」の販売拡大
 - － 海外：アジア地域、特に中国市場の需要拡大。(円安による為替効果有り)
- 期末受注残高：966億円
(前期末比 +8.5%)

2007年3月期：地域別売上高推移

FUJITEC Co., Ltd.



2007年3月期:地域別売上高・営業利益

FUJITEC Co., Ltd.

(単位:百万円)

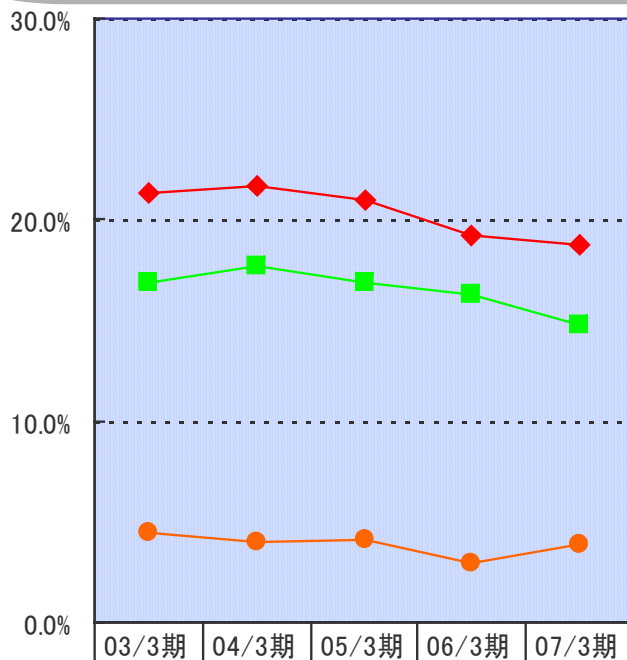
	売 上 高			営 業 利 益		
	当 期	前 期	前期比(%)	当 期 (利益率%)	前 期 (利益率%)	前期比
日 本	50,797	48,689	4.3	1,058 (2.1%)	506 (1.0%)	 552
北 米	21,689	17,588	23.3	△55 (△0.3%)	△502 (△2.9%)	 446
欧 州	1,702	935	82.1	△20 (△1.2%)	△158 (△16.9%)	 137
南アジア	8,754	7,480	17.0	872 (10.0%)	1,064 (14.2%)	 △192
東アジア	27,837	21,673	28.4	2,270 (8.2%)	1,787 (8.2%)	 482
小 計	110,781	96,367	-	4,124	2,697	1,427
内部取引消去	△6,065	△4,740	-	△87	△62	△24
連 結	104,716	91,627	14.3	4,037	2,634	1,402
			営業利益率	3.9%	2.9%	

- 日本:「表参道ヒルズ」「東京ミッドタウン」「なんばパークス」等の施設、「芝浦アイランドグロウタワー」「キングスクエアラントレックス」等の超高層タワーマンション等
- 米国:ヒューストン「ウェッジ・インターナショナル・タワー」等
- アラブ:ドバイの高級コンドミニアム「ホライゾン・タワー」等
- ベトナム:APEC会場「ハノイ・ナショナル・コンベンションセンター」等
- 香港:5棟のタワーから成る67階建ての超高層住宅・大規模商業施設「ビジョン・シティ」、超高層マンション「ザ・グランディオス」等
- 中国:河北省の高級住宅地・オフィスから成る複合ビル「福成公寓二期、福成商場」ほか江蘇省、天津市等の大規模住宅等

財務指標推移

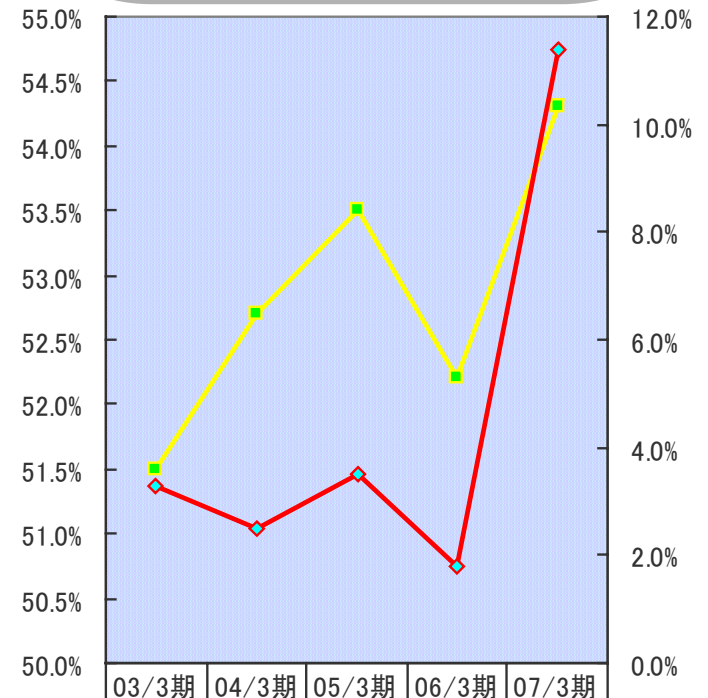
FUJITEC Co., Ltd.

売上総利益率、販管費率、営業利益率



	03/3期	04/3期	05/3期	06/3期	07/3期
売上総利益率	21.3%	21.7%	21.0%	19.2%	18.7%
販管費率	16.9%	17.7%	16.9%	16.3%	14.8%
営業利益率	4.4%	4.0%	4.1%	2.9%	3.9%

自己資本比率、ROE



	03/3期	04/3期	05/3期	06/3期	07/3期
自己資本比率	51.5%	52.7%	53.5%	52.2%	54.3%
ROE	3.3%	2.5%	3.5%	1.8%	11.4%

2007年3月期:連結B/S、CF

FUJITEC Co., Ltd.

(単位:百万円)

	06/3期	07/3期	増減 %	コメント
流動資産	67,698	75,832	12.0%	
現金・預金	20,152	23,317	15.7%	
受取手形・売掛金	27,115	29,984	10.6%	売上増に伴うもの
棚卸資産	17,632	16,964	-3.8%	
その他	2,797	5,566	99.0%	土地売却代金未収
固定資産	48,271	47,056	-2.5%	
有形固定資産	27,249	29,108	6.8%	ビッグウイング完成・中国新工場
無形固定資産	4,038	4,166	3.2%	
投資その他資産	16,983	13,782	-18.9%	有価証券評価減、貸付金回収
資産合計	115,970	122,889	6.0%	
流動負債	43,205	42,521	-1.6%	
支払手形・買掛金	10,324	12,537	21.4%	
短期借入金	11,374	13,140	15.5%	短期借入へのシフト
一年以内返済予定長期借入金	2,100	-	-	
未払法人税等	641	806	25.7%	
前受金	6,959	6,160	-11.5%	
その他	11,805	9,877	-16.3%	
固定負債	7,615	8,580	12.7%	繰り延べ税金負債の増加
純資産合計	60,553	71,786	18.5%	当期利益、少数株主持分組入れ
自己資本比率%	52.2%	54.3%	-	
負債・資本合計	115,970	122,889	6.0%	
BPS	646.4円	713.2円		

	06/3期	07/3期
営業キャッシュフロー	1,297	4,113
投資キャッシュフロー	-27	-3,025
フリーキャッシュフロー	1,269	1,087
財務キャッシュフロー	219	-2,213
現金・現金同等物期末残高	19,669	18,836

**定期預金の預入、払戻等により投資
キャッシュフローが拡大**

【営業キャッシュフロー】

税金等調整前純利益の計上

【投資キャッシュフロー】

固定資産売却53億円、貸付回収17億円、

定期預金の収支純額△39億円

【財務キャッシュフロー】

利息・配当等支払22億円

3. 2008年3月期決算予想



2008年3月期業績予想(連結)

FUJITEC Co., Ltd.

(単位:百万円)

中間期	2007/3期 実績	2008/3期 予想	前年同期比
売上高	46,904	49,000	4.5%
営業利益	1,887	1,700	△9.9%
経常利益	2,397	2,000	△16.6%
当期利益	633	1,400	121.0%

通期	2007/3期 実績	2008/3期 予想	前年同期比
売上高	104,716	110,000	5.0%
営業利益	4,037	4,400	9.0%
経常利益	4,772	4,900	2.7%
当期利益	7,245	2,700	△62.7%
EPS	77.32円	28.78円	

■ 新中期経営計画スタート

“Regeneration for Quality”(品質維新)

- ・安全と品質を最優先に、顧客の信頼と期待に応える
- ・グローバルで評価されるナンバーワン商品を提供する
- ・企業体質を革新して、持続的成長基盤を強固にする

■ 設備投資計画

前期総額 47億円(日本 34億円、南・東アジア12億円、北米1億円)

今期計画 33億円(日本 27億円、南・東アジア6億円)

■ 配当

前期総額 12円(中間5円、期末7円＝普通5円＋特別2円)

今期計画 12円(中間5円、期末7円＝普通5円＋記念2円)

4. 新中期経営計画

“Regeneration for Quality”



FUJITEC
品質維新

Ro **Regeneration for Quality**

顧客信頼
Regeneration あくなく品質の向上!

販売力
Regeneration マーケットシェアの奪還!

コスト競争力
Regeneration コストカットの確立!

技術革新
Regeneration 売れて儲かる商品の開発!

組織風土
Regeneration 画期的な組織風土の構築!

中期経営計画
2007.4.1～2010.3.31
経営ビジョン

- 社会と品質を最優先に、顧客の信頼と期待に応える。
- プローババで野望されるNo.1商品を開発する。
- 企業体質を刷新して、持続的な成長を達成する。

長期経営ビジョン

FUJITEC Co., Ltd.

当社経営理念

「人と技術と商品を大切にして、新しい時代にふさわしい
美しい都市機能を、世界の国々で世界の人々と共に創ります」

のもと、以下の長期経営ビジョンの実現に取り組みます。

長期経営ビジョン(2007－2016)

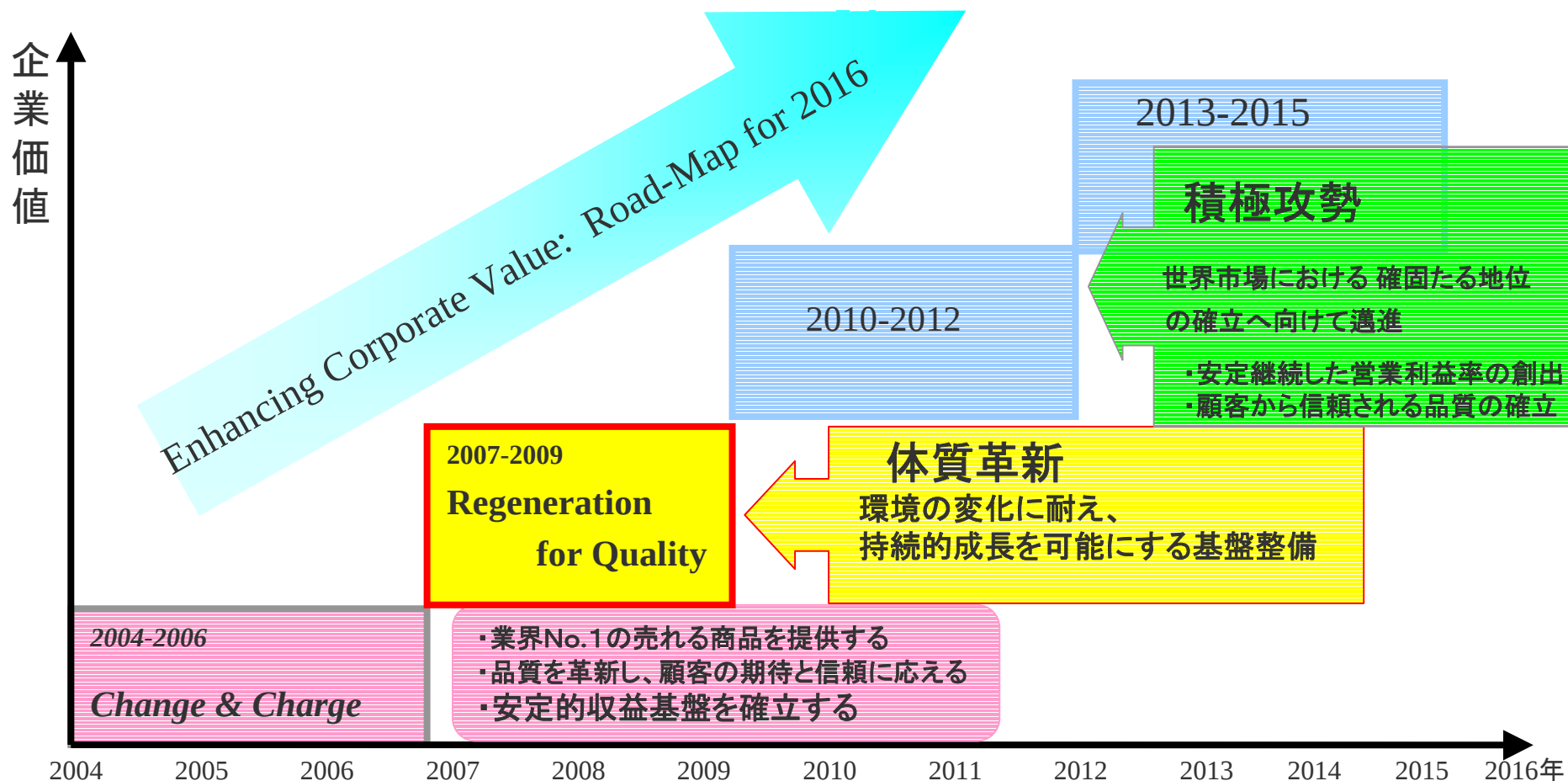
— *Top Quality for Customers* —

フジテックは、クオリティNo.1のグローバル・ブランドになります。

- ◆ お客様に信頼され喜ばれる商品とサービスを提供します。
- ◆ 感性と創造力を大切にして、新しい価値を提供します。
- ◆ 社員一人ひとりが成長し、誇りを持てる会社になります。

長期経営ビジョン Road-map for 2016

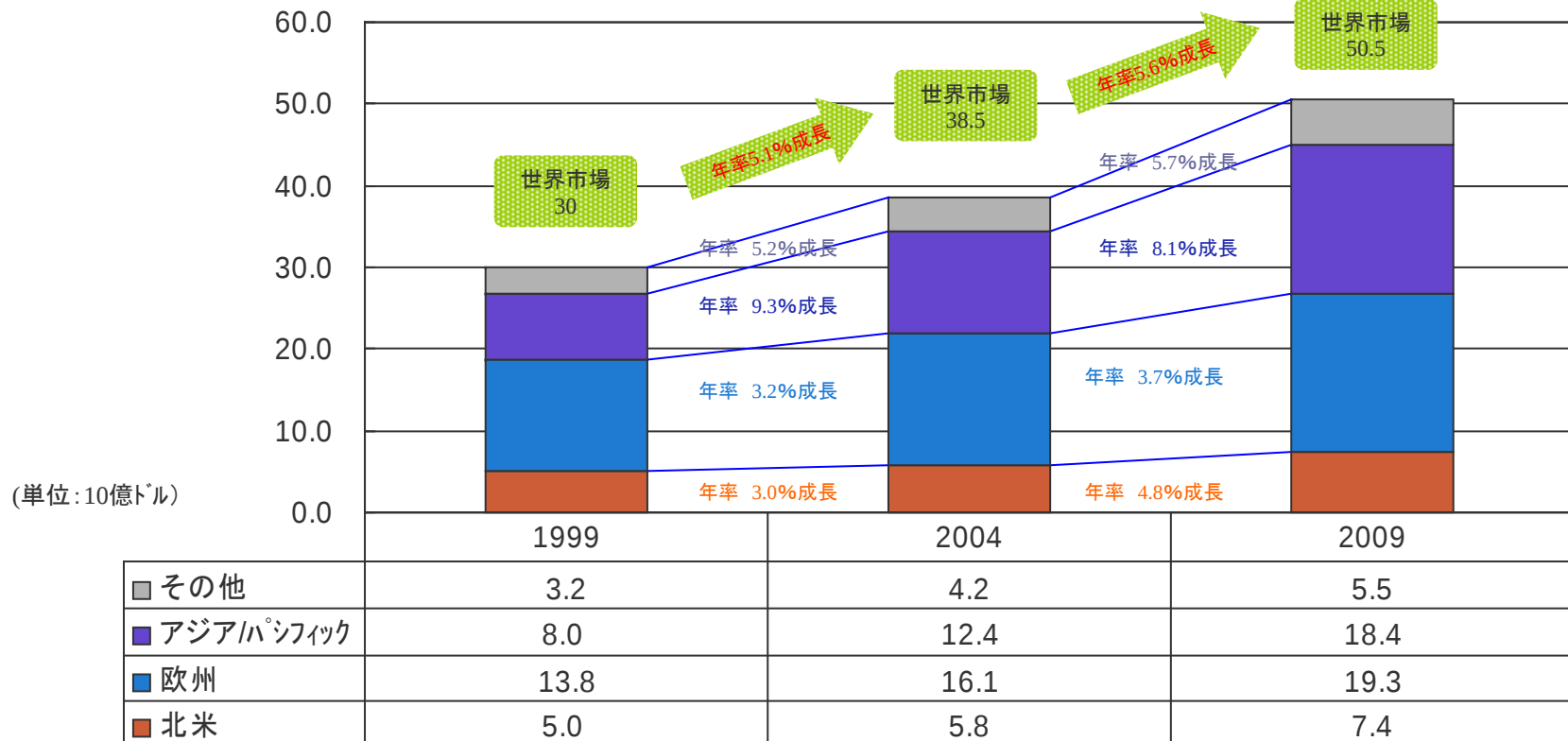
FUJITEC Co., Ltd.



市場規模

FUJITEC Co., Ltd.

世界の昇降機市場需要予測



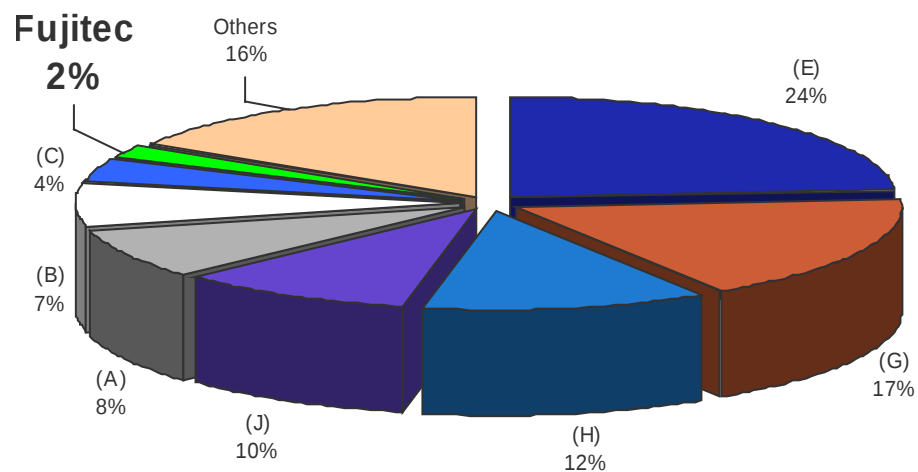
出所: 2006 Freedonia Group

- 中国市場の継続的拡大に続き中東・ロシア・インドの成長が今後加速
- 日本を含む先進国は、メンテナンス、モダニゼーションが拡大

グローバルプレーヤー(競合)

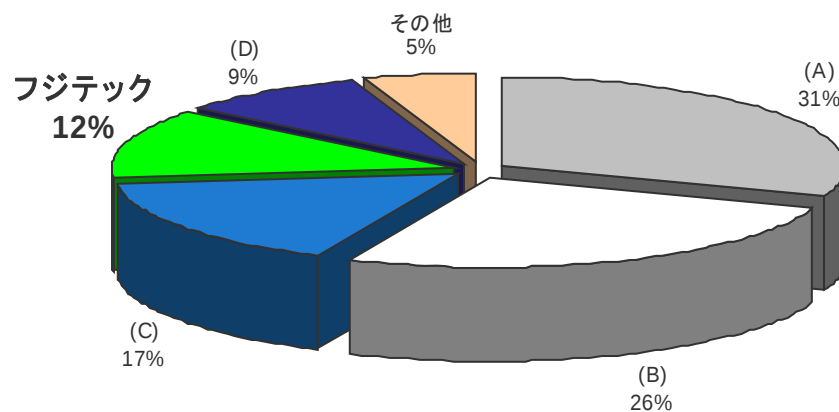
FUJITEC Co., Ltd.

グローバル市場 8位



(出所:ドイツファイナンシャルタイムズ誌
2006年: 総売上ベース)

国内市場 4位



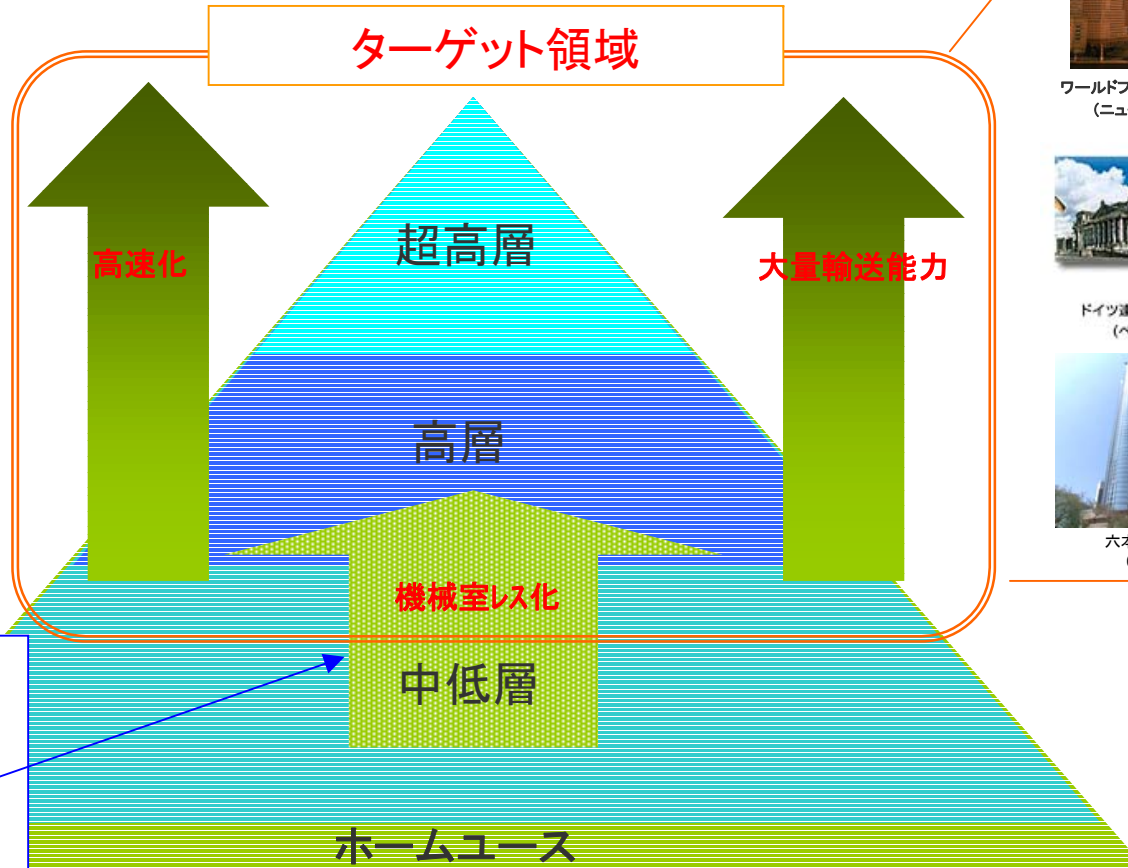
(出所:矢野経済研究所 2004年:生産高ベース)

市場動向とターゲット領域

FUJITEC Co., Ltd.

フジテックの注力領域

ターゲット領域



<実績事例>



ワールドファイナンシャルセンター
(ニューヨーク)



ゲートシティ大崎
(東京)



ドイツ連邦議会議事堂
(ベルリン)



インターナショナル・ファイナンス・センター
(香港)

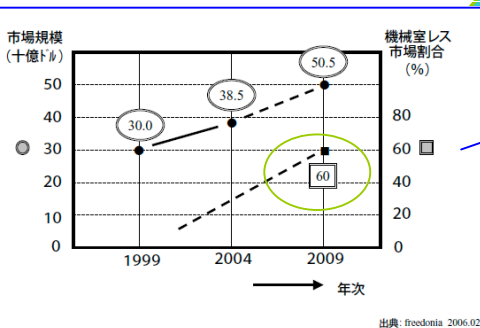


六本木ヒルズ
(東京)



ペニンシュラ・ホテル
(香港)

* 機械室レス化が2009年には60%へ



新中期経営計画 (2007-2009)

Regeneration for Quality

(品質維新)

新中期経営計画：次期3カ年につなげる基盤づくり

経営ビジョン

- 安全と品質を最優先に、顧客の信頼と期待に応える
- グローバルで評価されるナンバーワン商品を提供する
- 企業体質を革新して、持続的成長基盤を強固にする

戦略ポイント

- 新製品投入・中国からの資材調達による**粗利率の向上**、並びに販管費率圧縮による**営業利益率8%**を達成！
- 国内、並びにグローバル市場でのシンボリックビルへの納入・実績を背景に、成長市場(中国・中東・インド等)での**シェア拡大**
- **成熟市場でのメンテナンス、モダニゼーションの拡大**による収益力強化

経営目標 《利益目標》

FUJITEC Co., Ltd.

2009年度に 連結売上高 1,224億円
営業利益率 8%を達成

2007年3月期実績

(単位: 億円)

	売上高	営業利益
日本	507	10.5
東アジア	278	22.7
南アジア	87	8.7
北米	216	△0.5
欧州	17	△0.2
内部取引消去	△60	△0.8
合計	1,047	40.3
営業利益率		3.9%

平均為替レート 1米ドル 117円

2010年3月期目標

(単位: 億円)

	売上高	営業利益
	586	49.0
	389	30.4
	120	14.2
	197	4.6
	12	0.0
	△80	△0.2
	1,224	98.0
		8.0%

1米ドル 115円を前提

地域戦略：《目標達成のための》

FUJITEC Co., Ltd.

欧州市場

- ・選別化した新設商品の投入
- ・保守事業を中心とした展開



ルネサンス ロンドン
チャンゼリーコートホテル(ロンドン)

東アジア市場

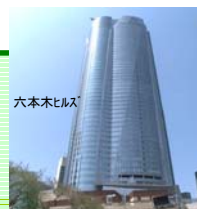
- ・中国市場での拡張体制強化
- ・上海エスカレータ新工場稼働と生産体制強化
- ・上海調達センターの活用
- ・保守顧客の確保とモダニゼーションの拡販



資材・部品

日本市場

- ・新標準型エレベータの市場投入
- ・保守顧客の拡大とモダニゼーションの拡販
- ・フィールド技術の向上と予防保全システムの整備



六本木ヒルズ

南アジア市場

- ・ASEAN諸国への拡販
- ・フジテックシンガポールから
グループ企業への機器供給体制の確立



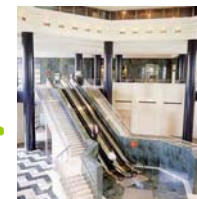
ワン・ラファース・プレイス

北南米市場

- ・地域特性に即した効率経営の推進
(NY等の戦略地域での圧倒的No1を目指す)
- ・エリアと投入商品を選択
- ・保守事業の強化とモダニゼーションの拡販



900 North Michigan



World Financial Center



当社の技術・商品開発力実績



タロンドライブ

■ 当社特許製品:

世界初のエレベータ駆動システム

ロープをベルトで押し付け、ベルトを駆動することにより、カゴを昇降させるもの



FLEX-DD

■ 当社特許製品: 新型ダブルデッキエレベータ (世界初の自動カゴ調整システム)

各階の高さに合わせ上下のカゴ間隔を自動的に調整



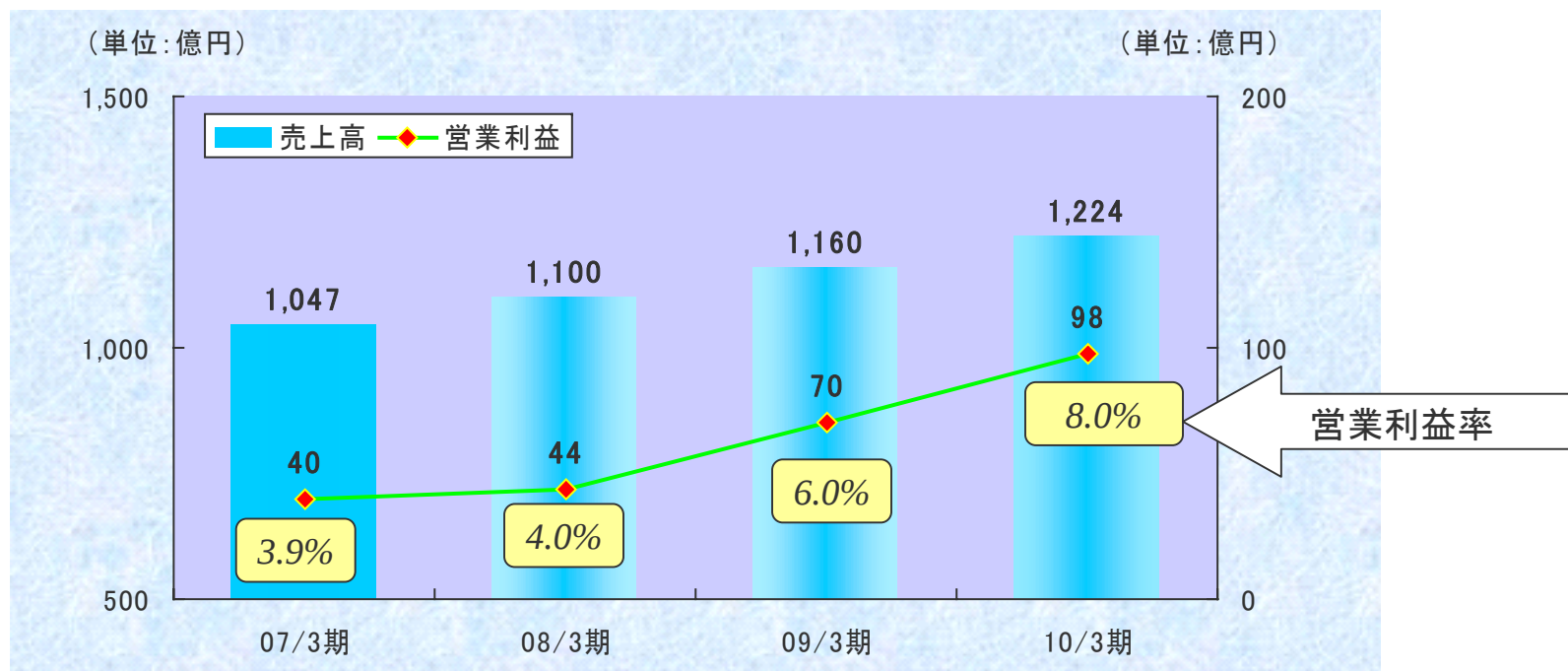
ニューロス

■ 当社特許製品:

世界初のニューロコンピュータ搭載
先進のエレベータ群管理システム

新中期経営計画の目標

FUJITEC Co., Ltd.



主な方策

- ☆ 新標準型エレベータを日本市場へ投入、および同商品のグローバル市場への展開
- ☆ メンテナンス、モダニゼーション事業での収益向上
- ☆ 中国市場でのエレベータ・エスカレータ拡販と生産体制ならびに資材調達体制の強化
- ☆ ASEAN諸国での拡販
- ☆ 欧米市場の地域特性に即した効率経営の推進

コーポレートガバナンスの強化

FUJITEC Co., Ltd.

当社は企業の社会的責任を果たし、株主、顧客、従業員などさまざまなステークホルダーから信頼されることが、事業活動において不可欠と考えております。コーポレートガバナンスの充実・強化が経営上の重要課題であると認識し、公平かつ透明性のある経営基盤の強化を図り、的確な意思決定と迅速な業務執行を行なうよう努めています。

【ガバナンス体制の強化： 監督機能、業務執行機能、監査機能の明確化】

- ・執行役員制度の採用
- ・取締役任期1年
- ・監査役会・監査役室の設置
- ・社外取締役2名の新たな選任(3名体制)

【コンプライアンス体制 / リスク管理体制】

- ・コンプライアンス委員会の設置
- ・リスクマネジメント委員会の設置
- ・「フジテック・ホットライン」の導入：法令違反の疑義に対する相談・通報体制
- ・環境問題を含む企業の社会的責任を果たすCSR活動の強化

【企業価値並びに株主価値向上に向けて】

- ・積極的なIR活動の推進
- ・買収防衛策の導入(株主総会で承認の上での継続ルール、独立委員会の設置)

お問合せ先： IR室： TEL(0749)30-7111
Mail： ir@fj.fujitec.co.jp

<http://www.fujitec.co.jp>

本資料は、2007年3月期決算の業績および新中期経営計画に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。又、本資料は2007年3月末日現在のデータに基づいて作成しております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更することがあります。